



# ゆめひろば

令和7年8月18日

文責 佐野 良

8月号 No.5



## 本物に触れて学ぶこと・・・林間学校を通して

7月15日(火)、16日(水)の1泊2日で、5年生が林間学校に出かけました。今年の5年生のテーマは、「自然にふれ合いながら協力して 楽しい林間学校!」です。子供たちは、ハケ岳少年自然の家で、小学校生活の中で初めての宿泊学習を体験しました。

実施前は、暑さ対策に力を入れていましたが、当日は台風の影響で暑さは問題なく、雨対策を取らなければならない状況となってしまいました。雨の影響も多少はありましたが、2日間の活動を終えて学校に帰ってきた5年生の子供たちの顔は、やり切ったという充実感に満ち溢れていました。ハケ岳での活動が有意義であったことが表情から伺えました。

今の世の中は、情報がすぐに手に入る時代です。事前学習の中でも、「観光や産業はなにがある?」とか、「ハケ岳近辺で見られる動物や植物の種類は?」などの疑問については、図鑑やネット検索をすることで知識を得ることが容易にできます。しかし、そこに実物を見る、触る、感じるといった活動が加わることで、調べた内容がより確かなものとなって身につけてきます。

また、林間学校の目的には、次の事柄が含まれています。

|    |   |
|----|---|
| 自然 | 自然に親しむことにより、自然を大切にし、自然から学ぶ豊かな心と態度を育てる。  |
| 仲間 | 友達とのふれあいを通して、互いのよいところを見つけ、認め合う心を育てる。    |
| 集団 | 宿泊生活を通して集団の一員としての自覚と規律を尊重し、協調性や自主性を育てる。 |

子供たちは林間学校をととても楽しみにしていました。兄弟姉妹や先輩などから活動の様子を聞いていた児童も多く、『冒険ハイク』おもしろそうだなあ、『野外炊事』のカレーづくり楽しみだなあ、など大きな期待をもって活動に臨んでいました。教室の中とは違った場所で、実際にやってみて、発見して分かる機会となり、五感をフル活動させ全身を使って学びを深めることができました。

この2日間の体験は、5年生にとってまた一つ大きく成長することができた機会となりました。これからの小学校生活にも十分生かされることと思います。

## 夏休み「ほたる學舎」開設・・・暑い中学習に取り組む児童の姿が

昭和町では、夏季休業等を活用して、児童生徒の補習的な学習支援をとおして、学ぶ楽しさやわかる喜びを味わわせ、基礎学力の定着と学習意欲の向上を図る目的から「ほたる學舎」を実施しています。

今年度も、10日間の日程で、大勢の児童が参加して、各自自分の学習に取り組むことができました。前半の5日間は、英語の学習会も実施され、本校のALTが外国語活動を行ってくれました。



子供たちは、夏休みの課題や、自主学習、理科自由研究などに取り組んでいました。町からは、教育指導員が配置され、課題につまずいている児童のサポートを行ってくれるなど、きめ細やかな指導を行ってくれています。

また、夏季休業中に限らず、年間を通して決められた日の土曜日にも、常永児童館を会場に「ほたる學舎」が開催されています。公的学習塾の意味合いがあり、大変有意義な場となっています。

2

## 1年生が学校給食センターを見学しました

1学期に、1年生が給食センターを見学しました。毎日おいしい給食をいただいておりますが、その給食がどのように作られているのかセンターの職員から説明を受けました。本校は立地的に給食センターがすぐ隣にあり、時間帯によってはおいしそうなおいがしてきます。



センター内では、栄養士や調理員さん方の仕事内容について詳しく教えていただき、その後は、実際に調理している様子を見ることができました。大きな窯でご飯やおかずの準備しているところがとてもよくわかりました。子供たちは、調理員さんたちが一生懸命作業している姿を見て、毎日のおいしい給食に対して感謝の気持ちを持ちました。食育にもつながる貴重な校外学習として今後も大切にしていきたいと思っております。

## 「ながら見回り」活動へのご協力をお願いします。

本校では、児童の登下校時における安全確保のため、保護者や地域の方々協力してくれています。特に登校時には、たくさんの方々が見守りを行ってくださっています。しかし、下校時の安全確保については学年により下校時間が違うため、見守りについても難しい面があります。ぜひ、地域の皆様におかれましては、「ながら見守り」へのご協力をお願いしたいと思います。

農作業しながら、散歩しながら、買い物行きがてらに、子供たちの下校の様子を見守っていただければと思います。よろしくお願いいたします。